

町に元気を元ニネーションミツヨシ

6-1 6班

(1) 提案のきっかけ

灯花会と元ニネーションに関する新聞記事で「灯花会と元ニネーションは川西町ではあまりやっていないということを知った。駅で元ニネーションを見たとき天理や吉野駅はにぎやかだと思った。だから、結崎駅に元ニネーションや灯花会のようなものを設置することを提案する。

問題点や現状

川西町の元ニネーションは小さいところで行っているけどそこには人がないから、やっている意味が「無い」と思う。もう一つは子どもから大人まで楽しめるように「子どもも大人も」知っているキッズなどがあることが「みんなを楽しませるが去だと考えられる。

以上のことから私たちのグループでは次の2点のことを提案する。

2. 提案

(1) KLU4800の準備

燈花会のような筒形の明かりの準備をする。

(1) 入場門をつくる。

馬尺の改土つを出て広場の入口に小をたかえる門を作る。(理) 明るくするため、明るくすると、糸吉山崎馬尺が「じみじまなぐて、町の)人に明るいと思ってもらえるから。

(2) イルミネーションの設置

馬尺の改土つを出て広場一面にイルミネーションを設置する。イルミネーションの設置にはお金がかかるから、川西町全体で募金をする。イルミネーションをやることで、川西町をおとす来た人が「感重かて町の人か好きになるかもしれない。それに、イルミネーションをみるために、川西町に夕々しくの人が「来てく来るコビカ」其月待できる。

3 まとめ

何かを実行する力と、そのためにどんな方法を考える力がつけたいと思う。イベントが実現したら、川西町の活気がつくと思う。駅前広場のみりょくが町の人に伝わると、人が自然に集まって、いい町になると思う。川西町が、あかるくにまわかな町になっていると思う。